

'08.8.7 第1回サンゴ礁保全・再生に向けての統合的沿岸管理分科会

サンゴ礁保全・再生のための 統合沿岸域管理の諸課題

東京工業大学大学院情報理工学研究科

灘岡和夫

多機能空間としての沿岸生態系

多様な生物の生息空間

漁場機能

環境浄化機能

景観機能

防災機能

観光・リクレーションの場

etc.

背景

健全な沿岸環境に対する国民のニーズの高まり

世界的な水産資源需要増加と資源枯渇 → わが国沿岸域における持続的な生物生産の確保の必要性

.....

1997.7 国連海洋法条約のわが国での発効
1999.6 環境アセスメント法(新アセス法)施行
2000.4 新海岸法施行
2002.3 新・生物多様性国家戦略
2003.1 自然再生推進法
2007.7 海洋基本法

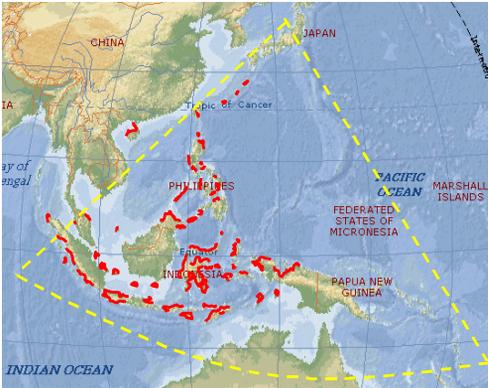
.....

沿岸域生態系の基盤を担う 浅海生態系の広範な劣化

- ▶ 藻場の衰退(磯焼け)
- ▶ 干潟生態系の劣化(二枚貝等ベントス資源の長期的減少)
- ▶ **サンゴ礁生態系の劣化**

.....

沿岸生態系劣化が深刻なSEA-WP海域



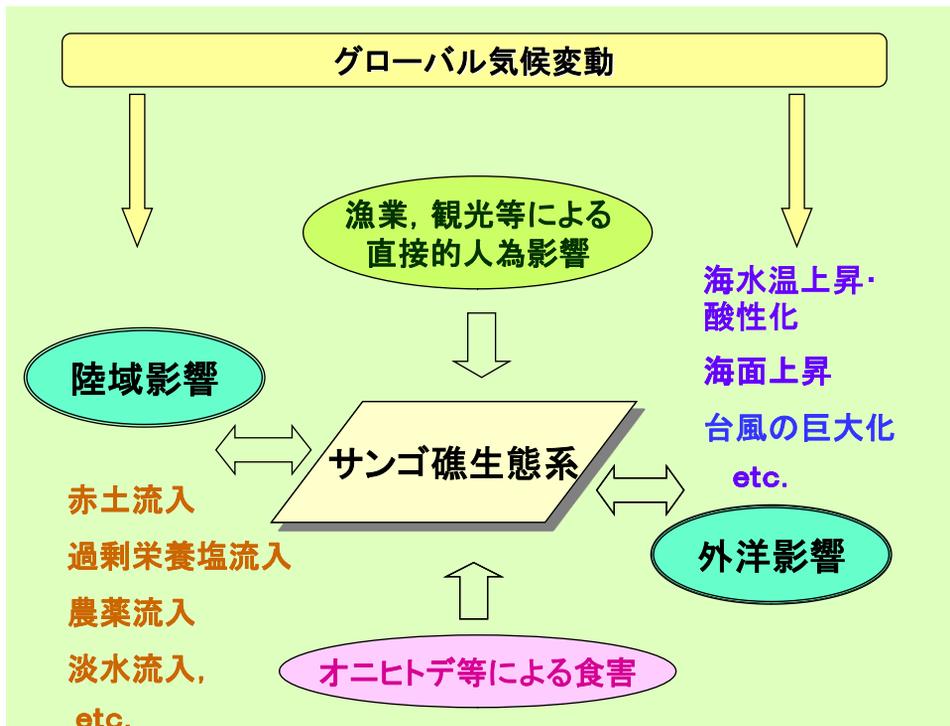
人口圧力が高く、貧困層の多くが沿岸資源に依存

さまざまな陸源負荷
過剰・破壊的漁業, etc.

+

地球温暖化

特に危機的な海域(赤)
とSEA-WP海域(黄)



沿岸生態系保全・再生に向けての 2つの基本的視点

1.

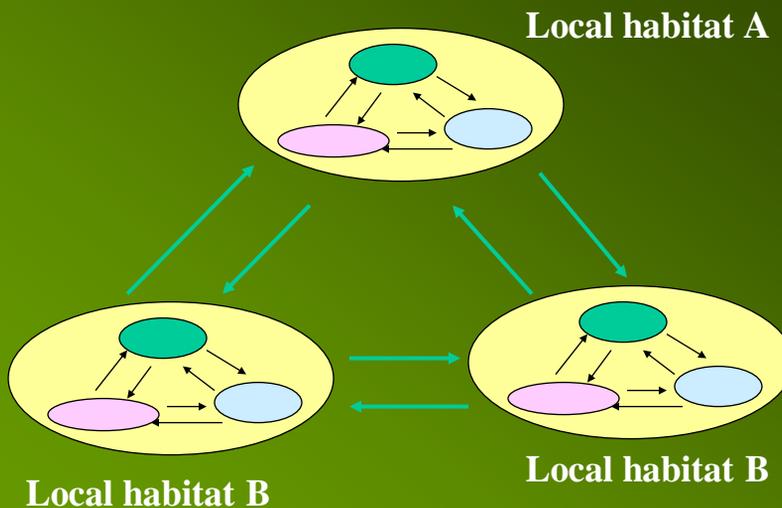
さまざまな劣化要因の軽減・除去

2.

生態システムの耐性・回復力の維持・向上

- ・ 生態システム全体としてのダメージの最小化
→ MPAの適切な設定と維持・管理
- ・ ダメージからの系全体としての回復を早めること
(resilienceの強化) → 広域沿岸生態系ネットワーク

広域沿岸生態系ネットワーク



統合沿岸域管理の諸課題

- 1) さまざまな劣化要因低減のための適切な制御・管理
 - ・陸源負荷(赤土, 栄養塩, 農薬など)
 - ・漁業(遊漁を含む)
 - ・観光, など
- 2) 広域沿岸生態系ネットワーク評価・管理とMPA展開
- 3) サンゴ移植の適切な位置づけ・評価
- 4) オニヒトデ等の食害生物の駆除
- 5) これらの基礎としての統合的モニタリング体制の確立と運用

いくつかのポイント

- 個別的対策から統合的・システムの対策へ
- スポットの対策からネットワーク型対策へ
- 実施主体の明確化
- さまざまなステークホルダー間の連携とそのためのプラットフォーム形成
- モニタリング体制確立の重要性
- 単なる保全対策にとどまらない, 地域づくりの一環としての保全・再生